



TITLE:

Economic Analysis on Grain Market Integration and Structural Change in Guizhou, China(Abstract_要旨)

AUTHOR(S):

Chen, Shuning

CITATION:

Chen, Shuning. Economic Analysis on Grain Market Integration and Structural Change in Guizhou, China. 京都大学, 2017, 博士(農学)

ISSUE DATE:

2017-05-23

URL:

<https://doi.org/10.14989/doctor.k20585>

RIGHT:

許諾条件により要旨は2017-07-31に公開

(続紙 1)

京都大学	博士（農学）	氏名	Shuning CHEN
論文題目	Economic Analysis on Grain Market Integration and Structural Change in Guizhou, China (中国貴州省における穀物市場統合と構造変化に関する経済分析)		
<p>(論文内容の要旨)</p> <p>貴州省は、中華人民共和国の中で最も貧しい省の一つである。隣の雲南省や広西省が市場経済にうまく組み入れられておらず金銭所得は低くても自然状況には恵まれていて物的には必ずしも貧困を実感していないのとは異なり、貴州省は市場経済的にも自然条件的にも恵まれていない。そのため市場条件の改善が貧困削減に大きな意味を持っている。それだけに、脆弱な自然条件という厳しい制約条件の下で市場条件の改善の持つ意義は極めて大きい。</p> <p>Shuning CHEN氏の学位請求論文は、このような背景を受けて、貴州省の主要食糧である穀物市場に注目し、その市場統合の状況を穀物グループごとに検討し、政策的意義を導出しようとするものである。その際、単品の穀物として、比較的統計データの得易い米と大豆を、穀物加工品として小麦粉と菜種油に焦点を当てている。</p> <p>論文は全部で5章から構成されている。そのうち、第1章は問題の背景と研究課題および全体の論文構成を説明し、第5章は論文の要約と政策的な含意を述べている。また第2章では予備的な考察として、既存研究の詳細なレビューに加えて、貴州省の穀物および穀物関連産業の現状について論じており、特にコメ、小麦（粉）、大豆、菜種油の各市場流通経路の特徴について記述している。加えて各々の生産、消費と各市場の地理的条件やインフラ整備状況および西部大開発や価格支持政策・穀物備蓄政策など中華人民共和国中央政府による統一政策と貴州省の現状との関係について紹介している。</p> <p>3～4章が論文の中核を成す。うち、第3章では、地域産業連関分析の手法を援用して、中国全体の産業構造および地域別に経済成長経路を比較すると共に、特に貴州省に焦点を当てた場合の産業構造および経済発展過程について論じている。その際、電子媒体では提供されていない貴州省産業連関表を2002年と2007年の2時点において、紙媒体の膨大な統計資料から手入力により作成した。</p> <p>さらに、こうして作成された144部門からなる貴州省産業連関表に関して農林水産業は細分化したまま、非農林水産業部門は可能な限り集計して、農林水産業を中心とする21部門からなるオリジナルの貴州省産業連関表に組み替えている。この表に基づいて、各部門別の生産誘発効果、付加価値誘発効果、雇用誘発効果を計測しており、貴州省内における農林水産業を中心とした後方連関および前方連関構造を明らかにしている。このことを通じて、中央政府のマクロ的政策が必ずしも貴州省の経済誘発効果を高める方向に働かなかったことに伴う経済的後進性につながった可能性を明らか</p>			

にした。さらに2時点の産業連関表から、その間の変化を再現しうる行方向の修正対角行列R（代替変化修正行列）と列方向の修正対角行列S（加工度変化修正行列）を推定することにより、潜在的に拡大性向を有する産業グループと縮小性向を有する産業グループに類型化することを通じて、貴州省の産業構造の潜在的な予測を行っている。また、産業連関分析の伝統的手法であるスカイライン分析を用いて、各産業別の自給率、生産シェアの構造を明らかにしている。

続く第4章では、多くの研究例がある国際市場と国内市場との市場統合や異なる流通段階の間での垂直的市場統合ではなく、同一国内で同じ制度や政策が適用されている一つの省内での、同一の市場段階での水平的市場統合の分析から明白な帰結を導くのは必ずしも容易ではないが、本論文では、統計データの利用可能性の制約から貴州省内の3つの市場での卸売段階での水平的市場統合に焦点を当てている点にその特徴がある。省内の3つの市場を中心的市場と周辺の市場に類型化し、その間での市場統合関係の有無と価格変動の市場間波及のタイムラグおよびその調整速度の大きさ等について多くの新知見を得ている。

注) 論文内容の要旨と論文審査の結果の要旨は1頁を38字×36行で作成し、合わせて、3,000字を標準とすること。

論文内容の要旨を英語で記入する場合は、400～1,100 wordsで作成し
審査結果の要旨は日本語500～2,000字程度で作成すること。

(論文審査の結果の要旨)

本論文は、急速な高度成長の下で展開される西部大開発（主に退耕還林や生態移民政策等）の過程で、中国で最も貧困状態に取り残されている貴州省に焦点を当てている。その際、農林水産業に関する乏しい既存統計データを加工し、不足部分を理論的に補足して経済分析用に整理検討し直した。加えて、同省における産業構造変化について分析し、次に、省内の穀物産業に焦点を当てて、地域市場の間の水平的市場統合とその規定要因について、実証的に研究したものである。

本論文の評価すべき主要な点は以下の通りである。

第1に、貴州省は中国で最も貧困な省の一つであり、外部からの調査研究の受け入れや経済統計の公開が最も進んでいない。本論文で扱った産業連関表も電子媒体では公表されておらず、膨大な文献資料に基づいて一から手入力により作成し、その加工により農林水産業を中心としたオリジナルな産業連関表を完成したことは大きな希少価値を有している。本研究で作成された電子媒体での農林水産業中心の貴州省産業連関表は、研究者の間で今後の調査研究の素材ツールとして大いに期待されている。また、この作成の過程で、同省に散在する統計資料の整理を通じて、その貧困状態を中国全体との比較において詳細に論じたことは高い評価に値する。

第2に、貴州省の農林水産業を中心とした産業連関分析により、同省内における産業構造変化とその規定要因を定量的に明らかにした上で、生産誘発額、付加価値誘発額、雇用誘発効果とその産業部門間での後方連関および前方連関の構造を明らかにしたことに加えて、西部大開発（主に退耕還林や生態移民政策）および価格支持政策や穀物備蓄政策等の中国政府の政策がその同省における経済誘発部門との関連において相対的に希薄であったために、中国全体の高度成長の中で、貴州省は取り残される傾向にあった状況を計量的に解明した点が高く評価される。また、RAS分析手法を適用して二時点のIO表からその間の各産業部門の潜在的成長傾向を予測することにより、各産業部門を潜在的成長傾向を持つ産業群と潜在的縮小傾向を持つ産業群に類型化することを通じて、貴州省内の潜在的構造変化傾向を予測した点で貴重な新知見を示したことは評価に値する。

第3に、貴州省内部における穀物の3つの主要地域市場間の流通構造に関して、地理的・経済的事情から穀物ごとに中心的市場と周辺の市場に類型化し、その市場統合のメカニズムを定量的に明らかにした上で、市場価格変動における長期的均衡関係の有無、価格波及の方向と時間的ラグおよび長期的均衡水準からの乖離が短期的に調整される仕組みを共和分分析等の時系列解析手法を適用して解明した点は、国際的にも貴州省に関しては既存の研究例が少ないことから極めて高く評価される。

以上のように、本論文は、中国貴州省における穀物部門を中心とする産業構造の

変化とその規定要因を定量的・実証的に明らかにすると共に、加えて省内地域市場間の価格波及関係に焦点を当てて穀物の種類ごとの水平的市場統合のメカニズムとその政策的意義に関する多くの新しい知見を示しており、農業発展論、市場統合論、地域環境経済学、地域農林経済学の発展に寄与するところが大きい。

よって、本論文は博士（農学）の学位論文として価値あるものと認める。

なお、平成29年4月20日、論文並びにそれに関連した分野にわたり試問した結果、博士（農学）の学位を授与される学力が十分あるものと認めた。

注）論文内容の要旨、審査の結果の要旨及び学位論文は、本学学術情報リポジトリに掲載し、公表とする。

ただし、特許申請、雑誌掲載等の関係により、要旨を学位授与後即日公表することに支障がある場合は、以下に公表可能とする日付を記入すること。

要旨公開可能日：2017年7月31日以降（学位授与日から3ヶ月以内）